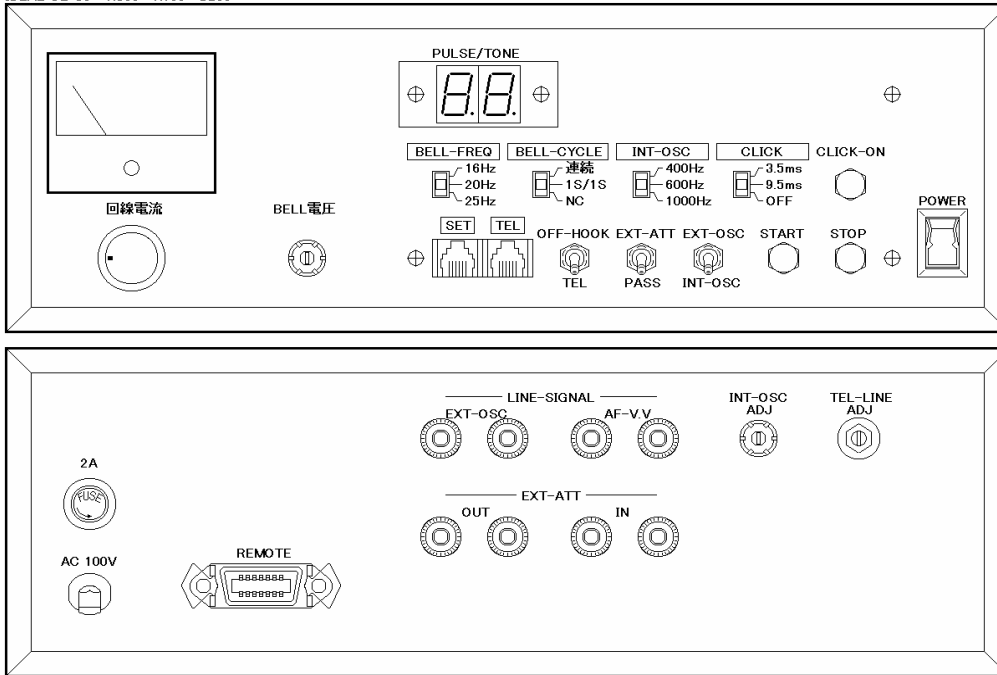


LOOP SUMULATOR

IDEAL CE-30 W300×H110×D200



【主な仕様】

重量	:	
寸法	:	W300×H110×D220
電源	:	電源スイッチ、100V(50/60Hz)ACプラグコード
回線電源電圧	:	DC48V

《表示部》

電流計	:	回線電流表示
電圧計	:	無し
7セグメント①	:	DTMF出力信号1桁表示、(送出時のみ表示)
7セグメント②	:	パルスカウンタ2桁表示10/20PPS、(オンフックリセット500ms以上)

《調整部》

SET回線電流ボリューム、表	:	ボリューム調整、最大50mA
TEL回線電流ボリューム、裏	:	ボリューム調整、最大50mA
ベル電圧ボリューム、表	:	ボリューム調整、最大100Vrms最小約20Vrms、
OSC出力レベルボリューム、裏	:	ボリューム調整、最大-20.0dbm 最小-50.0dbm以下、

《操作部》

スライドSW、ベル周波数	:	16Hz/20Hz/25Hzの3種類切替
スライドSW、ベル周期	:	連続/1秒のON OFF/—の3種類切替
スライドSW、内部OSC	:	400/600Hz/1100Hzの3種類切替
スライドSW、クリック	:	3.5ms/9.5ms/OFFの3種類切替
トグルSW、TEL/OFF_HOOK	:	外部電話機/600Ω接続切替
トグルSW、PASS/EXT ATT	:	SET-TEL間の無負荷/外部負荷(外部接続端子)切替
トグルSW、INT/EXT OSC	:	内部OSC/外部OSC(外部接続端子)切替
プッシュSW、CLICK-ON	:	SET回線のワンパルスクリック出力
プッシュSW、START	:	SET回線にベル信号出力
プッシュSW、STOP	:	ベル信号停止

《接続部》

モジュージャック、SET	:	AC,BELL(DC48への重畳)出力、OSC出力、TEL間通話可能
モジュージャック、TEL	:	外部電話機接続によりSET間通話可能/電話機HOOK_SWによりSET回線のクリック出力
陸式ターミナル、ATT_OUT	:	TELへの外部ATT端子
陸式ターミナル、ATT_IN	:	SETへの外部ATT端子
陸式ターミナル、EXT OSC	:	外部OSC接続端子
陸式ターミナル、AF,VV	:	SET回線の常時モニター端子

《備考》

ベル残り	:	200ms
回線	:	SN比、-55dbm以下

(REMOTE_BOX)オプション品

接続方法	:	DDK(14P)ケーブル
動作	:	REMOTE_BOX接続時、REMOTE_BOX優先

LOOP SUMULATOR

名称	機能 又は、操作説明
① ベルSTART	<p>STARTスイッチを押してSETモジュラー端子へベル信号(48V重畳)が出力されます。この時、SET側電話機がON-HOOKで、電話機切替スイッチがOFF-HOOK又は、外部電話機がOFF-HOOK状態である事、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ベル周波数 BELL-FREQ切替により、表示の値が選択出来ます。 2) ベル周期 BELL-CYCLE切替により、表示の値が選択出来ます。 3) ベル電圧 BELL電圧VR(表パネルボリューム)により任意の値に調整出来ます。出荷時、最小約20Vrms～最大約100Vrms((当社内サンプル電話機より)調整しています。又、BELL電圧GAIN調整VR(内部基板)により最大約100Vrmsまで調整出来ます。
② ベルSTOP	<p>STOPスイッチを押すか、SET側電話機をOFF-HOOKにするか、電話機切替スイッチをTEL側にするか、この時外部電話機接続の場合は外部電話機をON-HOOKにするとベル信号が止まります。</p>
③ OSC	<p>電話機切替スイッチをOFF-HOOK側で、SET側回線に任意の信号が入力が出来ます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1] OSC切替スイッチをEXT-OSCにした場合、EXT-OSC端子(裏パネル)よりSET側回線に外部発信機の信号を入力出来ます。(トランス1:1 アイソレーション済) 2] OSC切替スイッチをINT-OSCにした場合、 <ol style="list-style-type: none"> 1) OSC周波数 INT-OSC切替により、表示の値が選択出来ます。 2) OSC入力レベル INT-OSC ADJ(裏パネルボリューム)により任意のレベルに調整出来ます。出荷時、通常は-30dBm・最小-50dbm以下～最大約-20dbm(当社内サンプル電話機より)調整しています。又、内部OSCLレベルGAIN調整VR(内部基板)により最大約-2dbmまで調整出来ます。
④ クリック	<p>CLICK-ONスイッチを押すと、又は外部電話機のON-HOOKで指定のクリックをSET側電話機に出力出来ます。この時、電話機切替スイッチがOFF-HOOK又は、外部電話機接続の場合は外部電話機がOFF-HOOK状態である事、押す度にワンパルスだけ出力されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) クリック時間 CLICK切替により、表示の値が選択出来ます。
⑤ 送受話	<p>SET側電話機とTEL側電話機(外部電話機接続の事)の通話が出来ます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 外部ATT切替スイッチでATTのパスと外部ATT端子(裏パネル)との切替が出来ます。 2) AF,VV端子でSET側回線をモニタ(コンデンサーによりDCカット)出来ます。
⑥ 回線電流	<p>回線電流を調整出来ます。(20mA～100mA)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SET側回線電流VR(表パネルボリューム)で調整出来ます。電流計で確認が出来ます。 2) TEL側回線電流VR(裏パネルボリューム)で調整出来ます。原則的には、TEL側モジュラー端子で確認しますがR16(内部基板)の両端で確認も出来ます。例40mA→DC4.0V
⑦ ダイヤル	<p>SET側電話機より送出されたダイヤル信号を表示します。パルス信号の場合、2桁のカウントアップをします。(回線20mA以上) トーン信号の場合、1桁の信号送出時のみ表示します。(無信号の場合ブランク表示)</p>